

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.17

“やさしく かしく たくましく”
～ 本気と礼節の教育 ～

令和3年12月20日 文責:安生昌弘あんじょうあきひろ

◆ た：大切な命を守りますたいせつ

先週末、命の大切さを考えさせられるニュースが相次いで2件もたらされました。大阪市の雑居ビル放火事件と俳優の神田沙也加さん死亡のニュースです。両方とも、この事件に悪い影響を受ける人がいないと良いなと願うばかりです。

特に、神田沙也加さんは大ヒット映画『アナと雪の女王』でヒロインの声を担当しましたので、子どもたちにも、このニュースの影響は大きいだらうなあと感じました。私は母親の松田聖子さんと同じ年齢なので、デビュー当初から勝手に娘のような感覚で応援していました。ですから、この訃報は残念でなりません。

令和元年に田村市が制定した幼児から中学生までの生き方の指針、『田村の子心の道標(みちしるべ)』があります。

た：大切な命を守ります

む：結びます、人との強い絆を

ら：楽をせず、努力し続けます

の：伸ばします、よい個性を

こ：心優しく、思いやりのある子どもを目指します



この筆頭が命の大切さについてです。「大切な命を守ります」とは、他の人の命や生き物の命ばかりでなく、自分自身の命を大切にしてほしいという願いを込めて筆頭とされたものです。子どもたちの人生は、まだまだこれからです。人生は悪いことばかりでは決してありません。生きてさえいれば、良いことが巡ってくる子どもたちに言葉をかけたいと感じました。

一見、幸せそうに見える人にも家庭にも何かしら悩みや苦しみがあるのではないのでしょうか。イギリスのことわざに“夜明け前がいちばん暗い”(苦難の期間は、終わりかけの時期が最も苦しい。それを乗り越えれば、事態が好転するだろう)というものがあります。このことわざには“明けない夜はない”という意味も含まれているそうです。松田聖子さんの名曲『瑠璃(るり)色の地球』の歌い出しの歌詞「夜明けの来ない夜は無いさ あなたがポツリ言う」が心にしみたニュースでした。

◆ ゲートキーパー

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を凶ることができる人、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことで、国が平成19年から人と関わる、あらゆる職業において養成を奨励している人材です。



最後の一線を越えそうになった時、誰かに相談をしてくれたなら踏み止まることもあると思います。解決策をアドバイスできなくても話すことで踏み止まれることもあります。長い休業後には宿題が終わっていないなどの理由で、悩んでしまう子どももいます。電話相談やスクールカウンセラーがあること、また「君のゲートキーパーになれば、こんなに幸せなことはないよ」と親や先生方が思っていると伝えたいですね。

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。

